

歴史文化社会論講座紀要

第14号

初学者のための平仮名字形 ——「お」と「む」の点——	北山 聡佳	1
生と死の境界 ——第一次世界大戦と J.M. バリー『メアリ・ローズ』——	杉本 大樹	11
Consideration on Modern Tourism: The Continuity of the Past and the Present in Kyoto	天野 沙綾	23
Martha on a Quest	Li Chao	33
漢晋時代における東海繆氏一族について	劉 萃峰	一
積奠と齒冑の礼 ——中国中世の皇太子と儀礼——	千田 豊	三
鎌倉時代の西園寺家の邸宅	山岡 瞳	三
泉鏡花『沼夫人』における作品舞台とモデル	西園有加利	四
坂口安吾「源頼朝」における幸田露伴「頼朝」の受容 ——付「青春論」と森鷗外・吉田精顕——	上田 貴美	六
村上春樹『スプートニクの恋人』論 ——こちら/あちらの問題を軸として——	杉山 裕紀	八

2017年2月

京都大学大学院人間・環境学研究科
歴史文化社会論講座

『歴史文化社会論講座紀要』投稿規定

1. 投稿資格は、原則として、京都大学大学院人間・環境学研究科歴史文化社会論講座（以下、「本講座」と略）所属の教員、大学院生（元大学院生を含む）、および本講座教員が推薦し講座会議で承認されたものとする。ただし本講座に関わる教員の共著者として、それ以外のものを含むことができる。
2. 原稿は、本講座と関わる研究論文等で未発表のものに限る。二重投稿は認めない。
3. 掲載原稿は、原則として京都大学学術情報リポジトリに登録・公開するものとする。ただし、執筆者の要望により公開しないことも可能である。
4. 編集委員会は、投稿原稿について学内外の複数名に査読を依頼する。査読者は、①採用 ②語句の一部修正により採用 ③内容面にわたる修正の上採用 ④不採用 を判断する。
5. 投稿原稿の採否は、査読結果を基に編集委員会が決定する。
6. 投稿原稿は、日本語の場合 400 字詰原稿用紙換算で 60 枚以内、欧文の場合 8,000 語以内を目安とする。
7. 投稿予定者は、毎年 9 月末日までに編集委員または本講座教員に投稿予定表（別添）を提出のこと。投稿締め切りは毎年 10 月 15 日とする。
8. 投稿原稿は、コピー 2 部（計 3 部）に、電子メディア（使用ソフト名明記）を添えて、編集委員のメールボックス（専攻事務室内）に提出し、あわせて電子メールに同原稿のファイルを添付して編集委員のメールアドレス宛に送信すること。日本語の場合、A4 判の用紙に 40 字× 30 行でプリントアウト（縦書き・横書きいずれでも可）し、400 字詰に換算した分量（縦横各 20 字で一枚と計算、その総計枚数）を明記。欧文の場合、A4 判の用紙に 30 行でプリントアウトし、総語数を明記。各頁には通し番号を記入し、注はすべて原稿の末尾につけること（脚注にはしない）。併せて、英文タイトル、執筆者名の英語表記、現職名（大学院生は所属名）を添える。
9. 著者による校正は再校までとし、校正時における大幅な加筆・訂正は認めない。完全原稿で提出のこと。
10. 採用者には本誌 5 部、抜刷 30 部を贈呈する。それを超える分の抜刷については、著者の自己負担とする。

〔執筆者紹介〕

北山 聡佳	私立高等学校国語科・芸術科講師
杉本 大樹	京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程
天野 沙綾	京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程
李超 (Li Chao)	京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程
劉 萃峰	京都大学人間・環境研究科特別研究学生・南京大学歴史学院博士後期課程
千田 豊	京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程
山岡 瞳	京都大学大学院人間・環境学研究科 博士課程研究指導認定退学
西蘭有加利	京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程
上田 貴美	京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程修了
杉山 裕紀	甲陽学院中学校・高等学校講師

歴史文化社会論講座紀要 第14号 2017年2月28日発行

編集・発行 京都大学大学院人間・環境学研究科

歴史文化社会論講座

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科

印刷所 株式会社 田中プリント

〒600-8047 京都市下京区石不動之町 677-2

TEL 075-343-0006

Journal of History, Culture and Society

Number 14

February 2017

Articles

- The Forms of the Last Strokes in “お” and “む” in Shosha (書写)
..... KITAYAMA Satoka
- The Veil between Life and Death:
J. M. Barrie’s *Mary Rose* in the World War ISUGIMOTO Hiroki
- Consideration on Modern Tourism:
The Continuity of the Past and the Present in Kyoto AMANO Saaya
- Martha on a Quest LI Chao
- A Research of Miao’s Family from Han (漢) to Jin (晋) DynastyLIU Cuifeng
- A Study on the Shidian and the Chizhou:
—Crown Prince and the Ceremony in Medieval China.SENDA Yutaka
- Mansion of the Saionji Family in Kamakura PeriodYAMAOKA Hitomi
- The Stage and the Sources of Kyoka Izumi’s *Numafujin* NISHIZONO Yukari
- An Analysis of Ango Sakaguchi’s Historical Works :
“Minamoto no Yoritomo”, “Seishunron”,
and the Novelists of the Meiji Era UEDA Takami
- A Study on Haruki Murakami’s *Sputnik Sweetheart* :
With a Focus on “this side” / “the other side”SUGIYAMA Yuki

Course of Social Cultural History

Graduate School of Human and Environmental Studies

Kyoto University